

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5107 文学へのいざない2			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	180
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜3限				
教室	J301教室				
代表教員	津田 博幸				
担当教員	津田 博幸				
テーマと到達目標	文学をおもしろく読むには方法が必要だ。そして、おもしろく読めれば読めるほど、文学を通して文化や人間や自分自身について深く考えられるようになる。そこに大学で文学を研究することの意義がある。まずこのことを皆さんに実感してもらうことを目指す。その上で、各自が自分の読みの方法の模索を始めてほしい。				
概要	神話・物語、そして、『鬼滅の刃』を構造分析という方法で読んでゆく。題して『『鬼滅の刃』の神話学』。キーワードは、人食い・鉄と剣・鬼・トリックスターなどである。物語には構造がある。構造とは読み手の解釈によって見出される物語内部の関係性の組み合わせである。基礎になるのは二項対立で、たとえば善と悪との二項対立は古代神話にも『鬼滅の刃』にも見出せる。そうすると、両者は構造という抽象的なレベルで比較できることになる。これが構造分析の最大の利点である。では、その構造分析の意義とは何か。これを人と異類(動物)という二項対立の物語を分析しながら考えてゆく。講義形式。なるべく楽しくやりたい。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	最古の人食いヤマタノオロチ(『古事記』)。				対面授業
第2回	ヤマタノオロチと鉄と剣(『古事記』)。				対面授業
第3回	鉄と稲(米)の親しい関係またはヤマタノオロチとヤシオリ作戦。				対面授業
第4回	最古の人食い鬼は一つ目(『出雲国風土記』)。				対面授業
第5回	無限に米を与える一つ目鬼(『今昔物語集』)。				対面授業
第6回	人食い鬼酒呑童子はヤマタノオロチの子孫だった(『伊吹童子』)。				対面授業
第7回	炭焼長者伝説と柳田国男「炭焼き小五郎が事」。				対面授業
第8回	炭治郎が炭焼である理由と柳田説。				対面授業
第9回	火をもたらす雷神と善逸。				対面授業
第10回	火と水と鍛冶——炭焼長者伝説の構造分析。				対面授業
第11回	オロチを殺すトリックスター・スサノオ。				対面授業
第12回	酒呑童子を殺すトリックスター・源頼光。				対面授業
第13回	『鬼滅の刃』のトリックスターとしての禰豆子・珠世。				対面授業
第14回	鬼舞辻無惨とは何者か。				対面授業
第15回	なぜ炭治郎は無惨を倒せたのかを神話論で分析する。				対面授業
成績評価の基準	全授業時数の3分の2以上の出席と課題提出を必須とする。毎回、授業後にポータルを通して課題(その日の講義内容に対する理解の確認、発展的考察・質問などを200字以上)を提出。毎回の課題の評定の総計で評価する。				
履修にあたっての留意事項	・「文学へのいざない1」(前期)と合わせて履修されることをお勧めする。 ・オンライン授業の併用は原則として行わないが、受講者に病気等のやむをえない事情がある場合はZoom中継の視聴および講義後のZoom録画の視聴を認める。希望者は講義開始の30分前までにポータルの「授業Q&A」で申し出ること。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	T学科				

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	プリントを配布。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--